

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成16年11月18日(2004.11.18)

【公表番号】特表2000-504736(P2000-504736A)

【公表日】平成12年4月18日(2000.4.18)

【出願番号】特願平9-529766

【国際特許分類第7版】

A 6 1 K 31/195

A 6 1 P 35/00

A 6 1 K 31/495

A 6 1 K 31/505

A 6 1 K 31/555

A 6 1 K 31/704

A 6 1 K 33/24

// A 6 1 K 49/00

A 6 1 K 49/04

C 0 7 C 229/76

C 0 7 C 237/04

C 0 7 C 311/46

C 0 7 D 257/02

C 0 7 D 295/22

C 0 7 F 1/04

C 0 7 F 3/08

C 0 7 F 5/00

【F I】

A 6 1 K 31/195

A 6 1 K 31/00 6 3 5

A 6 1 K 31/495

A 6 1 K 31/505

A 6 1 K 31/555

A 6 1 K 31/70 6 1 1

A 6 1 K 33/24

A 6 1 K 49/00 C

A 6 1 K 49/04 A

C 0 7 C 229/76

C 0 7 C 237/04

C 0 7 C 311/46

C 0 7 D 257/02

C 0 7 D 295/22 A

C 0 7 F 1/04

C 0 7 F 3/08

C 0 7 F 5/00 D

【手続補正書】

【提出日】平成16年2月16日(2004.2.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成16年2月16日

特許庁長官 今 井 康 夫 殿

1. 事件の表示

平成9年特許願第529766号

2. 補正をする者

名称 シェリング アクチェンゲゼルシャフト

3. 代 理 人

住所 〒105-8423 東京都港区虎ノ門三丁目5番1号 虎ノ門37森ビル

青和特許法律事務所 電話 03-5470-1900

氏名 弁理士(7751) 石 田 敬



4. 補正対象書類名

請求の範囲

5. 補正対象項目名

請求の範囲

6. 補正の内容

請求の範囲を別紙の通り補正をする。

7. 添付書類の目録

請求の範囲

1 通



方 式 査 査



請求の範囲

1. 一般式 I :

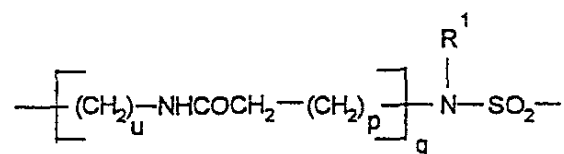


式中 :

R^F はペルフルオル化した直鎖もしくは分枝状の式 $-C_n F_{2n} X$ で表される炭素鎖であり、

当該式中の X がフッ素、塩素、臭素、ヨード又は水素原子であり、 n が 4 - 30 の間の数字であり、

L は直接結合、メチレン基、 $-NHCO-$ 基、又は :



(式中の p は 0 から 10 の数字であり、 q 及び u は相互に独立した数字 0 か 1 であり、そして

R^1 は水素原子、メチル基、 $-CH_2 - OH$ 基、 $-CH_2 - CO_2 H$ 基又は、 $C_2 - C_{15}$ 鎖であり、これは 1 から 3 個の酸素原子、1 から 2 個の $>C=O$ 基もしくはアリアル基により切断されていてもよく、及び/または 1 から 4 個のヒドロキシル基、1 から 2 個の $C_1 - C_4$ - アルコキシ基、1 から 2 個のカルボキシ基、もしくは $-SO_3 H$ 基で置換されていてもよい) により表される基、

あるいは直鎖、分枝状、飽和あるいは不飽和型の $C_2 - C_{30}$ - 炭素鎖 (1 から 10 個の酸素原子、1 から 3 個の $-NR^1$ 基、1 から 2 個の硫黄原子、ピペラジン、 $CONR^1$ 基、 $NR^1 CO$ 基、 $-SO_2$ 基、 $NR^1 - CO_2$ 基、1 から 2 個の $-CO$ 基、

$-CO-N-T-N(R^1)-SO_2-R^F$ 基、あるいは 1 から 2 個の置換さ

れたアリアルを含むこともあり、及び/又は当該基により中断されていることもあり、そして/又は 1 から 3 個の $-OR^1$ 基、1 から 2 個のオキソ基、1 から

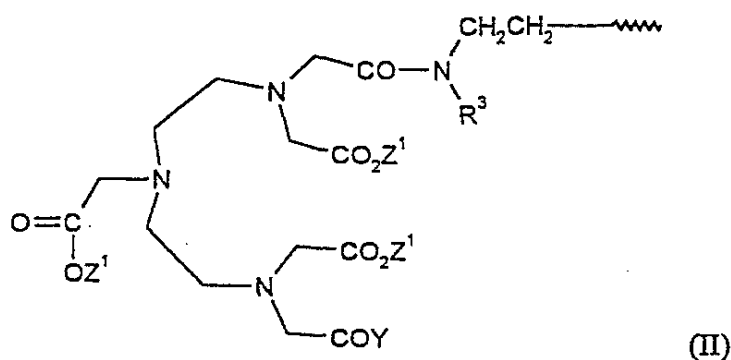
2個の $-\text{NH}-\text{COR}^1$ -基、1から2個の $-\text{CONHR}^1$ -基、1から2個の $-(\text{CH}_2)_p-\text{CO}_2\text{H}$ -基、1から2個の $-(\text{CH}_2)_p-(\text{O})_q-\text{CH}_2\text{CH}_2-\text{R}^f$ 基で置換されることもあり、

当該基の

R^1 、 R^f 、 p 、及び q は前記と同意であり、そして

T は C_2-C_{10} -鎖であり、時に1個から2個の酸素原子もしくは1から2個の $-\text{NHCO}-$ 基で切断されることがある) であり；

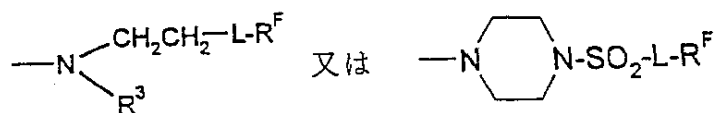
A は金属錯体、あるいはその有機および／又は無機塩基の塩、又はアミノ酸もしくはアミノ酸アミドであり、そして特に一般式II：



(式中、 R^3 、 Z^1 、および Y は互いに独立しており、かつ R^3 は R^1 と同意であり、又は m が0、1、もしくは2であり、 L と R^f が前記に同意である $-(\text{CH}_2)_m-\text{L}-\text{R}^f$ であり、

Z^1 はそれぞれ独立に水素又は原子番号12、20-30、39、42、44もしくは57-83の金属イオン当量であり、

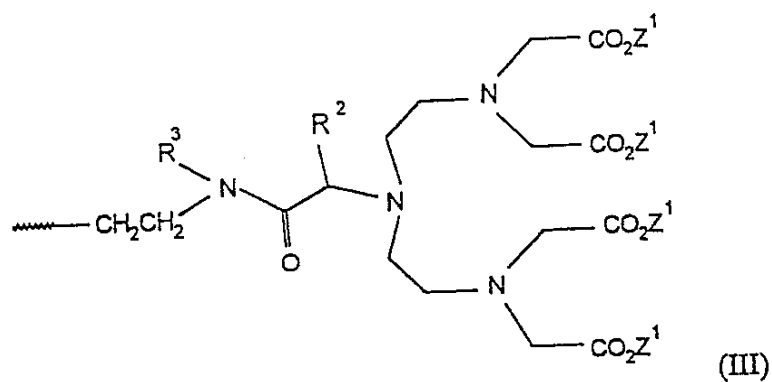
Y は $-\text{OZ}^1-$ 又は



であり、式中の Z^1 、 L 、 R^f 、および R^3 は前記に同意である) の錯体；あるいは、

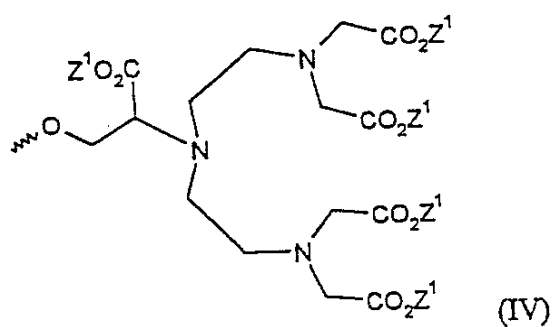
式中の R^3 と Z^1 が前記に同意であり、 R^2 は R^1 とが同じである一般式

III：



の錯体、あるいは

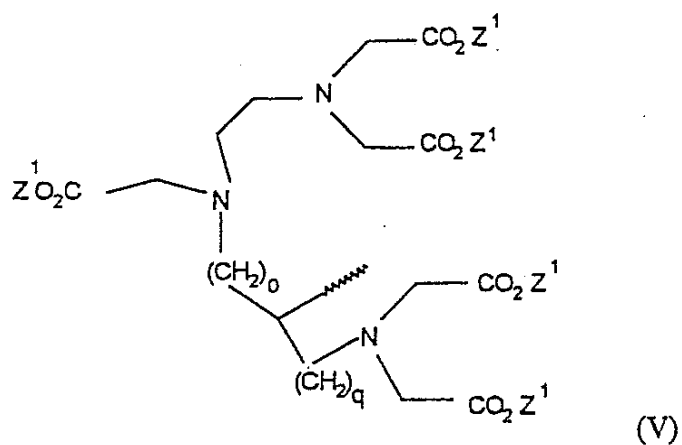
式中の Z^1 が前記に同意である一般式IV：



の錯体；

あるいは

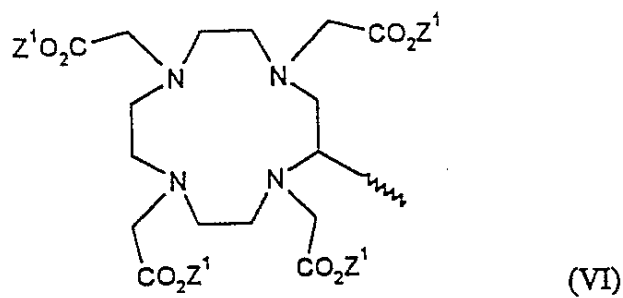
式中の Z^1 が前記に同意であり、そして o と q は0又は1であり、 $0 + q = 1$ である一般式V：



の錯体；

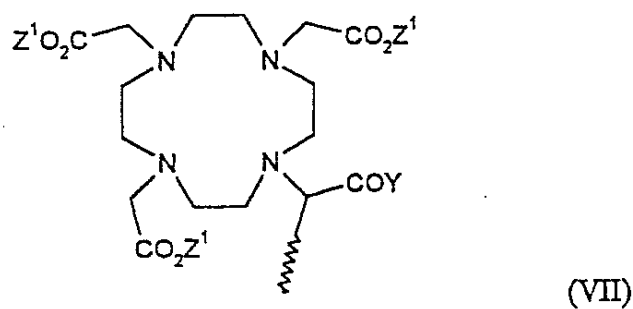
あるいは

式中の Z^1 が前記に同意である一般式VI：



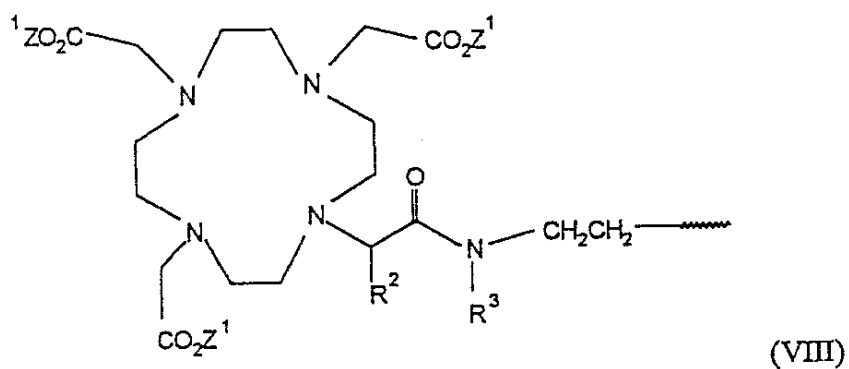
の錯体；あるいは

式中の Z^1 と Y が前記に同意である一般式 VII：



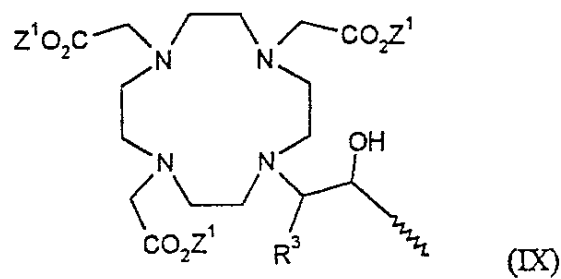
の錯体；あるいは

式中の R^3 と Z^1 が前記に同意であり R^2 が R^1 と同意である一般式 VIII：



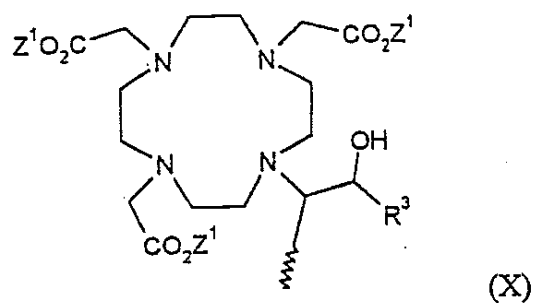
の錯体；あるいは、

式中の R^3 と Z^1 が前記に同意である一般式 IX：



の錯体；あるいは

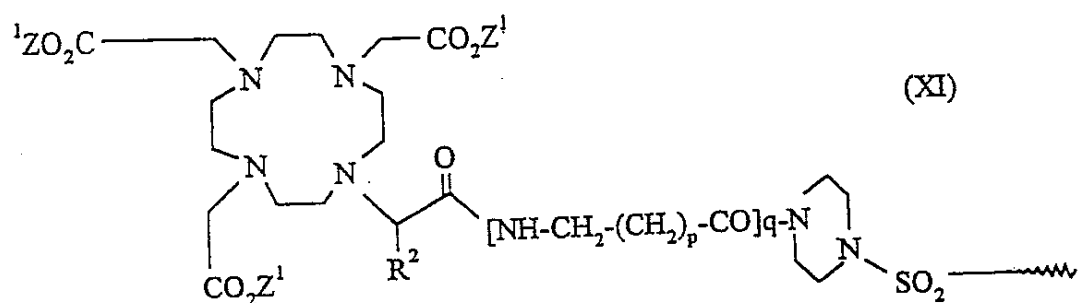
式中の R^3 と Z^1 が前記に同意である一般式 X :



の錯体；あるいは

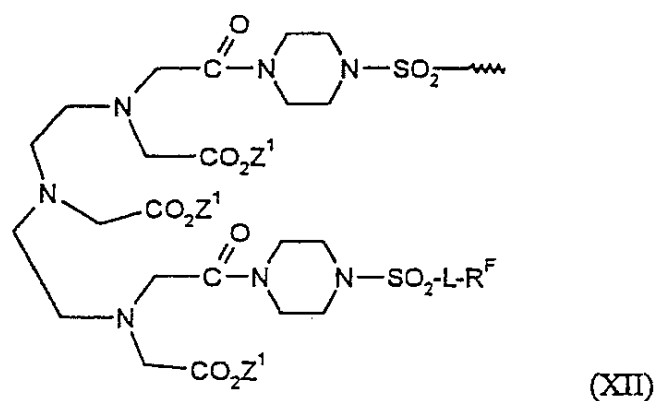
式中の Z^1 が前記に同意であり、そして R^2 が R^1 と同じである一般式 X

I :



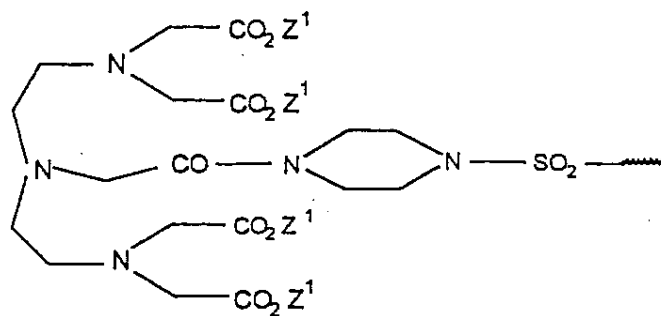
の錯体；あるいは

式中の L、 R^F と Z^1 が前記に同意である一般式 X II ;



の錯体；あるいは

式中の Z^1 が前記に同意である一般式 X III :



(XIII)

の錯体を少なくとも1種類含み、さらに癌治療のための一般医薬添加物を含むこともある医薬品物質。

2. 請求項1記載の一般式Iのペルフルオロアルキル含有化合物を少なくとも1種類含み、さらに肝細胞癌(HCC)治療用医薬品に通常用いられる添加物も含むことがある医薬品。

3. 請求項1の一般式Iのペルフルオロアルキル含有化合物を少なくとも1種類含み、放射線治療用医薬品に通常用いられる添加物を含むことがある医薬品。

4. 式 $-C_n F_{2n} X$ の n が4-15の間の数字であることを特徴とする請求項1~3いずれか1項記載の化合物を少なくとも1種類含む医薬品。

5. 式 $-C_n F_{2n} X$ の X がフッ素原子であることを特徴とする請求項1から4のいずれか1項記載の化合物を少なくとも1種類含む医薬品。

6. 10-[2-ヒドロキシ-4-アザ-5-オキソ-7-アザ-7-(ペルフルオロオクチルスルフォニル)-ノニル]-1,4,7-トリス(カルボキシメチル)-1,4,7,10-テトラアザシクロドデカンのカドリニウム錯体を含む請求項1の医薬品。

7. 請求項1から3のいずれか1項記載の一般式Iのペルフルオロアルキル含有化合物を少なくとも1種類と少なくとも1種類の化学治療薬を含む医薬品。

8. 化学治療薬が5-フルオロウラシル、シスプラスチン、ドキソルビシン及び/又はマイトマイシンCである請求項7の医薬品。

9. 請求項1から3のいずれか1項記載の一般式Iのペルフルオロアルキル含有化合物を少なくとも1種類と、NMR-又はレントゲン-診断用造影剤を少なくとも1種類含む医薬品。

10. 請求項7又は8のいずれかと、NMR-又はレントゲン-診断用造影剤

を少なくとも1種類含む医薬品。

11. 請求項1の一般式Iの生理学的に利用可能な化合物の少なくとも1種類を、癌治療に用いる方法。

12. 請求項1の一般式Iの生理学的に利用可能な化合物の少なくとも1種類を、肝細胞癌(HCC)の治療に用いる方法。

13. 請求項1の一般式Iの生理学的に利用可能な化合物の少なくとも1種類を、放射線治療に用いる方法。

14. 請求項1の一般式Iの生理学的に利用可能な化合物の少なくとも1種類を、癌治療又は放射線治療に用いる方法。

15. 請求項1の一般式Iの生理学的に利用可能な化合物の少なくとも1種類と、少なくとも1種類の化学治療薬とを一緒に用いる請求項11から13までの方法。

16. 化学治療薬が5-フルオロウラシル、シスプラスチン、ドキソルビシン及び/又はマイトマイシンCであることを特徴とする請求項15の方法。

17. 請求項1の一般式Iの生理学的に利用可能な化合物を少なくとも1種類と、少なくとも1種類のNMR-又はレントゲン診断用造影剤とを一緒に使用する請求項11から13のいずれか1項記載の方法。

18. 請求項1の一般式Iの生理学的に利用可能な化合物を少なくとも1種類と、少なくとも1種類のNMR-又はレントゲン診断用造影剤ならびに少なくとも1種類の化学治療薬と一緒に使用する請求項11から13のいずれか1項記載の方法。